TEIKA

定家

シテ 松木千俊

松木千俊独立三十五周年記念 第三十五回

檀（まゆみ）の会

令和五年十一月二十三日（木・祝）午後二時始（開場午後一時）於 観世能楽堂

能面「泥眼」松下弘美作

番組

お話　葛西 聖司（古典芸術解説者）

14:20
舞囃子
淡路
松木 崇俊
大鼓 佃 良太郎　太鼓 大川 典良
小鼓 成田 奏　笛 一噌 隆晴
後見 高梨 万里　佐川 勝貴
地謡 武田 宗典　武田 友志　武田 文志

14:35
仕舞
屋島　下平 克宏
羽衣　大松 洋一
地謡 武田 章志　武田 祥照　高梨 万里　武田 崇史

休憩二十分

15:05
能
定家
前シテ（里女）後シテ（武子内親王）松木 千俊
ワキ（旅僧）宝生 欣哉
アイ（所ノ者）高澤 祐介
大鼓 原岡 一之　小鼓 成田 達志　笛 松田 弘之
後見 武田 尚浩　武田 宗和
地謡 武田 崇史　武田 祥照　岡 久広　武田 志房　武田 宗典　武田 友志

附祝言

終了予定 午後五時

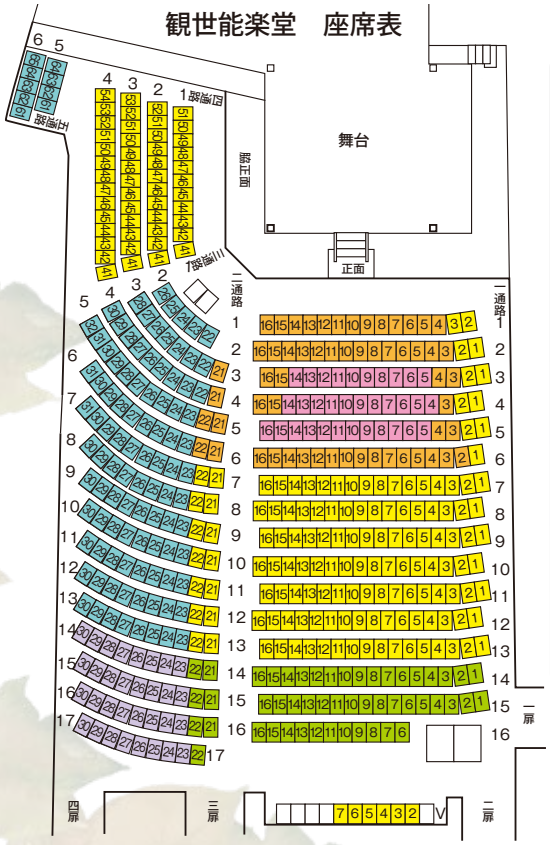
能●定家「ていか」

北国出身の旅の僧（ワキ）が供の僧（ワキツレ）を連れて、都の千本（京都市上京区）のあたりにやって来ます。初冬の景色を眺めていると、にわかに時雨が降り出します。僧たちは近くの建物で雨宿りをします。そこへ里の女（前シテ）が現れ、ここは歌人の藤原定家が暮らした「時雨の亭」であると教え、定家の時雨を詠んだ歌を口にします。女は蔦葛に覆われた石塔に案内し、石塔は式子内親王の墓であり、蔦葛は「定家葛」というと明かし、二人の恋物語を語ります。定家は式子内親王と人目を忍ぶ仲となりますが、内親王が亡くなり、定家の執心は葛となって内親王の墓に這いまとわり続けていました。女は恋の妄執を僧に訴え、自分は内親王の霊と明かして消え失せました。

里の男（アイ）が現れ、僧に定家と内親王の秘めた恋と定家の執心の物語を語り、二人の供養を勧めて立ち去ります。

夜になり、僧たちが供養をすると、石塔の中から声が響き、やがて内親王の霊（後シテ）がやつれ果てた姿を見せます。内親王の霊は草木の成仏を説く法華経の弔いを喜びます。経の力によって定家葛が緩み、内親王の霊はひと時の解放を得て、感謝の舞を舞います。しかし内親王の霊が塚の内へ帰ると、石塔には再び定家葛が這いまとわり、葛にうずもれてしまいました。（檜書店「能サポ」より抜粋）

観世能楽堂　座席表



- 特別席　30,000円（終了後の会食、お土産付）
- S指定席 10,000円
- A指定席　8,000円
- B指定席　8,000円
- C指定席　6,000円
- D指定席　5,000円
- 学生席　2,000円

（タブレット 字幕解説付き）※席の列・番をご指定の場合は2000円プラスとなります。

チケットの購入について

三十五回チケットと三十六回チケットを同席でお申し込みのお客様は1割引とさせていただきます。是非ご活用ください。

お申し込みフォーム▼

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

東京都中央区銀座6丁目10番1号　GINZA SIX 地下3階
TEL 03-6274-6579

能楽堂へは三原通り側、ツーリストサービスセンター横のエレベーター・エスカレーターで地下3階にお越しください。
お車でご来場の際 は通行できませんの でご注意ください。

特別展示 小さな美術館

第36回「屋島」にちなみ、ロビーにて
川越藩火縄銃鉄砲隊保存会
会長 寺田図書助勝廣
による甲冑を特別展示
致します

一般社団法人
松の会
Matsu no kai

事務担当：080-2555-0626（佐藤）
TEL･FAX：03-6767-5555
E-mail：matsunokai@gmail.com
HP：http://matsunokai.com/

※お申し込み・お問い合わせを頂いた際に不在の場合は
留守番電話にお名前・ご用件・ご連絡先をお入れ下さい。折り返しご連絡させて頂きます。